

7月7日（月）

本当に価値あるものとは？

聖書朗読 詩篇 119：33～40

むなしいものを見ないように私の目をそらせ、あなたの道に私を生かしてください。
詩篇 119:37

私たちは、実に簡単に日常の取るに足りないことでエネルギーを消耗してしまっているかに気が付いていますか？ 私たちは、「私を心配して！」というあちらこちらから聞こえてくる無数の声に気を取られ、思い悩むことに時間を費やしてしまっています。

そのような声に振り回されずに生きていくには、必要なものに対してのみ深く注意を払うようにしていかなければなりません。そうでなければ、私たちの日々は、混乱を極め、制御不能になり、疲労困憊してしまいます。ですから、家族や友人関係、お金の管理、家の管理、主と共にいる静かな祈りの時間の確保、これらのことを順に正しく焦点を合わせこなしていくようにするのです。しかし時に他の声も、霊的、肉体的に私たちの気を引き、私たちを引っ張り込みます。日々の不便さ、失礼な人々、「もし～～なったら」という恐怖に支配されてしまうと、どうしても自分を見失ってしまいます。

一日の終わりに、「気が付いたら時間があつという間にたってしまった」と思ったことはありませんか？ そして、思っていたより実りの少ない一日に自分を責めたことはありませんか？ 詩篇 119 編の作者も同じように感じ、価値のないものを追い求めた先にある失望と落胆を知っていました。ですから自分を責めるよりもむしろ、私たちも詩篇の作者のように、聖書の中の聖なる御ことばを中心におき、再び神と共に交わることを始めることができます。

讃美歌 第二編 191

祈り 主なる神。私の心は、命のみことばと、何度もやり直させて下さることに感謝と驚きで満たされています。

キリストを通して。アーメン。

ヴァージル・フライ
テキサス州 ヒューストン

今日の力

2014年7月7日～7月13日

翻訳 阿部やよい

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

7月8日(火)

神の物語

聖書朗読 詩篇 135 : 1～13

まことに、私は知る。主は大いなる方、私たちの主はすべての神々にまさっておられる。
詩篇 135 : 5

自伝、自分の人生の物語を書くには、相当な労力が必要となります。あなたは、読む人には全体像をつかむため、小さな出来事まで細部にわたって知ってもらいたいと思うでしょう。

今、私は自伝の執筆にかかっています。(他人の自伝を書く方がよっぽど楽です。)現在のところ、自伝は100ページくらいは進んでいます、完成までにまだまだ時間がかかります。娘に少し読んでもらったのですが、彼女の知らないことを知ることができたにも関わらず、彼女は「でもママ、ちょっと言葉が多すぎる! 事実だけを書くことはできないの?」と言いました。

簡潔に書くことは、私にはできません。書き終え、退屈な編集作業を終えた後でさえも、きっと読んだ人は「言葉が多いなあ」と言うでしょう。私は細部まで全てを伝えたいのです。詩篇135編では、我が主と主の偉業についての概要とその解説が語られています。

また、神の創造物である天、地、海、雲、いなづま、雨、風、について語られています。神の人々を敵から守るために使われる神の御力等について記し、奇跡についても言及されています。

神の莫大な力と愛が現れるたびに、そこに書かれていることに私たちは衝撃を受けます。そこには神の物語以上のものがあります。もしあなたが、言葉の多い物語を読みたいのなら、聖書を開いて読んでみてください!

讃美歌 63

祈り 親愛なる主。いつも心から聖書を読むことができますように。そうすれば、あなた様のこと、あなた様の私たちに対する大きな愛についてもっと詳しく知ることができます。

イエス様の御名によって。アーメン。

スー・ラザム

カリフォルニア州 アンテロープ

7月9日(水)

神に喜んでいただきましょう!

聖書朗読 詩篇 147 : 1～11

主を恐れる者と御恵みを待ち望む者とを主は好まれる。 詩篇 147 : 11

「手に入れなきゃ!」。これは人々が欲しいものを目の前にして言う言葉です。しかし誰かが、「神の喜びを手に入れなきゃ!」と言っているのをあなたは聞いたことがありますか? 全てのクリスチャンはその喜びを欲しがり、必要とし、そして手に入れることを望みます。しかし神の好意を受け取るために私たちは何をしているのでしょうか?

かつてウィリアム・ブースが成功の秘訣を聞かれた時、彼はこう答えました。

「秘密を教えましょう。神は私に必要なものは全てをお持ちです。私より賢く、チャンスに恵まれている人は多くいます。しかし、ロンドンの貧しい人々を見て、イエス・キリストが彼らにするであろうビジョンを見たその日から、私は、神様はウィリアム・ブースに必要なもの全てをお持ちであると心に固く信じることにしました。そして、一つでも何かが達成されると、それは神様がすでにお持ちであったから達成できたものと考えました」。

「他人のことを思いやり」、「手に入れなきゃ」を「与えなきゃ」に変えた日、経験したことのない神の好意を受けてとるのです。欲しい物を考えるたびに「与えなきゃ」と言ってください。

讃美歌 317

祈り 主よ。どうか私たちの愚かさをお許してください。自分のことばかり考えるのをやめて、人のために尽くすとき、私に喜びをお与えください。

イエス様の御名によって。アーメン

ウィリアム・E・“ビル” マクダナ
カンボジア シエムリアプ

7月10日(木)

作 戦 ミ ス

聖書朗読 箴言 12:20～28

正義の道にはいのちがある。その道筋には死がない。

箴言 12:28

「ストレス解消法：後悔する5つの習慣」という見出しが私の目に留まりました。

私たちは皆、仕事、お金、健康、人間関係、子ども、年老いた親、渋滞、天候、時間が足りない、暇すぎ、といった人生のストレスにさらされています。そして、どうしても簡単な解決策で手を打とうとしてしまいます。でも、その簡単に手を出した解決策が、悪習となってしまうことがあるのです。ですから、その記事ではファーストフードや栄養ドリンクを手放し、テレビの前でくつろぐのをやめるよう言っています。

代わりに運動し、昼寝をし、そしてカモミールティーを飲むよう勧めています。記事の中では箴言14:12の『人の目にはまっすぐに見える道がある。その道の終わりは死の道である。』がそのまま引用されています。安らぎを求めようとするのではなく、自分に問うてみてください。「次の正しい一歩はどれ?」。正しい一歩を選んだのなら、それがどんなに小さなものでも、私たちは正義の、健康の、命の道にとどまっていることとなります。賢く、どのような状況でも神を信じることを学ぶことで、私たちはイエス様の平安で心が満たされ、心穏やかでいることができるのです。次の正しい一歩を選ぶことで、聖霊が私たちをイエス様に似たものに形作ることを許し、真の命、希望、喜びを私たちは経験します。

讃美歌 第二編 29

祈り お父様。今のストレスに直面している時、私をお導きくださいますようお願い致します。次の正しい一歩を選ぶよう私を強めてくださる時、導きのためにイエス様を私の心に招き入れ、あなた様のいつくしみとまことを賛美致します。

イエス様の力強い御名によって。アーメン。

バギー・A・ニーマン

コロラド州 ニューキャスル

7月11日(金)

言 葉 に 気 を つ け て

聖書朗読 伝道の書 5:1～7

何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。ピリピ 4:6

最近の礼拝に来ている人達は、神への近づきやすさ——神様はいつでも私たちの声に耳を傾けてくださっている——を重要視しています。私たちはいつでも神様と繋がっていることができるのです。イエス様の血によって、私たちの神様へのアクセスが自由になり、開かれました。ある意味、私たちの仲裁者として、イエス様の血は私たちの「不適切な」言葉を濾過してくださっているのです。

けれども、この伝道の書のメッセージでは、神の前に行く重大さと、話すよりも聞くことの重要性について語られています。この7節の中、5節もの長さで、話しすぎることを避け、慎重に話す必要について言及しています。神様は、私たちが指示を仰ぐその他大勢の中の一人としてではなく、私たちにとって至上のものとなることを望んでおられます。

1節では、『神の宮に行くときには、自分の足に気をつけよ。』と記されています。

自分がどこにいるのか、何をしているのか、誰を礼拝しているのかを十分に知る必要があります。神様に近づく時には、慌てないで、思慮深くなりなさい。

2節では、『ことばを少なくせよ。』と記されています。うわべだけの信仰はすぐばれてしまいます。神様は私たちが応えること、自ら進んで従うことを望んでおられます。どれだけ真剣に私が宇宙の主を礼拝し、賛美し、探し求めているか。私が神様に対して本当に言いたことは何か。私は讃美歌作者とともに言います。『私の口のことばと、私の心の思いとが、御前に、受け入れられますように。』（詩篇19:14）

讃美歌 第二編 79

祈り 聖なる主。あなた様が喜ぶ話し方を、本当の私の心を表現する方法を学べるようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ノーマ・プリヴェット

カリフォルニア州 サンザンドオークス

7月12日(土)

老 い

聖書朗読 伝道の書 12:1～8

彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってください。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。

黙示録 21:4

伝道の書は、人がする労苦は「無意味」であるとソロモンが繰り返し断言する、希望のない言葉であふれています。そして、最も悲観的箇所は、第12章、ソロモンが年齢による衰えについて詩的に物悲しく描写しているところだと思います。

現在では、ソロモンの時代よりもはるかに多く自分の体についての知識を持ち、怪我や病気になれば、はるかに多くの医学的治療や手術を受けることができることを私たちは分かっています。しかし、薬や飲み物、食べ物やクリームで時間を巻き戻し、若さを取り戻せると約束されても、老いという現実を変えることはできないのです。目はかすみ、耳は遠くなり、歩みは遅くなります。最後にソロモンは言いました。『人は永遠の家へと歩いて行き、嘆く者たちが通りを歩き回る。』(5節)

ソロモンの幻は私たちにも見覚えがあるものです。しかし、神様に感謝しましょう、私たちはヨハネの幻も見ているのですから！ 私たちは、古いものが新しくなり、死が消え去る場所で神が私たちを待っていてくださることを知っています。

そして、そのことを知っているため、もはや死が命を無意味なものにすることはありません。

讃美歌 151

祈 り 親愛なるお父様。日々、体の衰えを感じて悲しくなります。

私たちの涙の日々は終わり、死を克服できることを教えてくださり感謝いたします。終わりを恐れて生きていくのではなく、信仰のうちに生きていくことができますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

タミー・ディトモア

カリフォルニア州 ニューベリーパーク

7月13日(日)

し っ か り し な さ い

聖書朗読 イザヤ書 35:3～10

こういうわけで、私たちは揺り動かされない御国を受けているのですから、感謝しようではありませんか。こうして私たちは、慎みと恐れとをもって、神に喜ばれるように奉仕をすることができるのです。

ヘブル 12:28

神に選ばれた民は怒り狂っていました。彼らは外国勢力による侵略の中で、今にも負けそうでした。しかし、神様は、彼らのために驚くべきプランを用意されていました。神様は、預言者に良い時がすぐそこに来ているというメッセージを授けました。それはまるで、「あなたの震えている手を、ガクガクの膝を見なさい。落ち着きなさい。」と神様が言っているようでした。

危機的状況の中にいるために、我を忘れたことはありませんか？ 私の9歳になる孫娘は困ったことがあると家のいろいろな所に隠す磁石のついた猿のぬいぐるみを使って私に伝えてきます。時に冷蔵庫、時にランプにぶら下がっている猿のぬいぐるみが見つめている先に孫からのメッセージがあります。これはいつもよいきっかけとなります。例えば、「マリーン、今日のお猿さんはなんか上下さかさまになっているよ」とメッセージがあります。猿は我を失っているのかもしれませんが。しかし、孫は、おじいちゃんが自分の心の状態を気にかけていて、そして何かしらの素晴らしい手を打ってくれることを知っています。

神に選ばれた人々は、完全には宮での礼拝や彼らの伝統を取り戻すことはできませんでした。彼らは全世界に散らばされましたが、神様は、イエス様を示されることによって、彼らを神様の元へと導く素晴らしい直行路を備えてくださいました。

喜びが待っています。悲しみとため気は去りました！

讃美歌 488

祈 り ご在天の我がお父様。地球上のここで、ほとんどが身から出た錆ですが。危機的状況にどつぶりつかってしまっています。でも、神様は常に命を永遠なものにするために、解決につながる直行路を指さしながら私のためにそばにいてくださいます。

イエス様の御名によって。アーメン。

ポール・トーマス

カリフォルニア州 ユカイパ